

### 移動式監視カメラの活用は

**Q** ごみ集積所の不法投棄対策として、移動式監視カメラ4台の活用状況は。

**A** 不法投棄が多い地区から設置要望があり、3カ所の集積所に計10回設置し、収集後に映像を確認している。

### 自転車駐輪場の管理は

**Q** 庁舎東側の陸橋下の無料駐輪場に放置自転車があるが対応は。

**A** 破損している放置自転車の台数が増えれば撤去期間を告知する札を取り付け、年に一度処分している。

### 防潮ゲート安全点検の強化を

**Q** 漁港、河川にゲートが計20カ所ある。津波や集中豪雨に備えた職員の操作講習や安全点検を強化すべきでは。

**A** 毎年、各部署と連携し、津波や集中豪雨に対応できるようゲートの開閉操作の講習を現地で実施している。

### 緑化の推進は

**Q** 緑化推進とブロック塀撤去を同時にできる生けがき設置補助は実績が少ない。さらなる取り組みは。

**A** 以前ブロック塀撤去の支援事業があったが、実績は少なかった。引き続き緑化推進に取り組み、検討を続ける。

### 住宅リフォーム助成は

**Q** 住宅関連の助成対象は戸建て住宅が中心で、集合住宅には不利である。公平な制度となるよう検討を。

**A** 集合住宅の共用部分に求めるニーズの変化や高齢化対応の視点も含め、前向きに検討する。

### 経常収支比率は改善したが

**Q** 経常収支比率は大きく改善したが、普通地方交付税増額の影響が大きい。この傾向は今後も続くと考えるか。

**A** 今後も交付税の増額が続くとは考えにくく、経常経費の歳出も増えており慎重に財政計画を進める必要がある。



▲円滑なごみ収集のための中継施設



▲水害から地域を守る防潮ゲート（阿閉漁港）



▲地域移行が進む運動部



▲子どもの安全を守る交通指導員

### 中継施設の有効活用を

**Q** ごみ処理中継施設の容量に余裕があると思われるので、近隣市町と協力して有効活用しては。

**A** 現在、連携することは難しい。近隣市町から協力を求められた場合の負担金などについて整理しておく。

### 遊休農地の調査・指導は

**Q** 農業委員会は、農地転用案件や遊休農地の調査・指導などの事務を執行するが、増加する耕作放棄地の対応は。

**A** 8月から農地パトロールを実施し、管理が不良な農地に改善依頼書を送付し、再度パトロールを実施している。

### 就学援助のさらなる検討を

**Q** 所得基準の見直し後も援助率が低いと思われる。対象者の申請状況の確認や、所得要件の見直しが必要では。

**A** 制度は学校での案内配布、保護者への声掛けなどで周知している。近隣状況を確認するが、当面は変更しない。

### 中学校運動部の地域移行は

**Q** 外部団体に委託する休日の部活動の地域移行はどのように進んでいるのか。

**A** 令和5年度から3年間を改革集中期間とし、子どもが主体的に生涯スポーツを楽しむ社会を目指していく。

### GIGAスクール環境の改善は

**Q** G I G Aスクールの通信手段は、移動通信を利用しているが課題もある。安定的な固定通信の検討は。

**A** 移動通信による課題は認識している。今後、デジタル教科書の導入も見据え、固定通信の利用も検討したい。

### 交通指導員の配置は

**Q** 指導員の研修や配置場所変更の基準は。

**A** 採用時に研修を行い、プライバシー保護の観点も含め、指導員の自宅から離れた場所に配置している。